

目 次

第1章 合併会計..... 1	5. 親会社の子会社を吸収合併する場合の会計処理..... 27
第1節 合併の意義及び基本的処理方法.. 1	6. 子会社が親会社を吸収合併する場合の会計処理 [point up lesson 7] . 35
1. 意 義.....1	7. 同一の株主（企業）により支配されている子会社同士の合併の会計処理（合併対価が現金等の財産のみである場合） [point up lesson 8] 38
2. 合併の形態.....1	8. 同一の株主（企業）により支配されている子会社同士の合併の会計処理（合併対価が吸収合併存続会社の株式のみである場合） [point up lesson 9] 42
3. 合併の基本的会計処理.....2	9. 同一の株主（企業）により支配されている子会社同士の合併の会計処理（合併対価が吸収合併存続会社の株式と現金等の財産である場合） [point up lesson 10] 46
第2節 取得と判定された吸収合併の会計処理 7	10. 同一の株主（個人）により支配されている企業同士の吸収合併の会計処理（適用指針254項）..... 50
1. 取得の会計処理の概要.....7	第2章 建設業会計..... 51
2. 取得原価の算定方法.....7	1. 意 義..... 51
3. 取得原価の配分方法.....9	2. 特 徴..... 51
4. 取得企業の増加資本の会計処理...10	3. 建設業会計において使用する勘定科目..... 51
5. 逆取得となる吸収合併の会計処理.16	4. 建設業会計における収益・費用の集計と計算..... 52
第3節 共同支配企業の形成と判定された吸収合併の会計処理 20	5. 建設業会計における工事収益の認識基準 [工事契約に関する会計基準9項] 53
1. 共同支配企業の形成の会計処理の概要(適用指針182項、182-2項)..... 20	6. 建設業会計の基本的会計処理.... 58
2. 吸収合併存続会社（共同支配企業）の会計処理.....20	
3. 合併会社の株主（共同支配投資企業）の会計処理(適用指針189項).... 22	
4. 合併会社の株主（一般の投資企業）の会計処理(適用指針191項)..... 22	
第4節 共通支配下の取引としての吸収合併の会計処理 25	
1. 共通支配下の取引等の会計処理の概要(適用指針200項)..... 25	
2. 共通支配下の取引の範囲(適用指針201項)..... 25	
3. 共通支配下の取得に係る対価.... 25	
4. 適用指針で取り扱う共通支配下の取引等の組織再編の形式ごとの会計処理(適用指針204項)..... 26	

7. 建設業の公表財務諸表.....	62	第4節 どのように調整するのか.....	127
第3章 外貨建会計.....	74	第5節 税効果会計の2つの方法.....	131
第1節 外貨建取引とは.....	74	第6節 税率変更の際の取扱い.....	132
1. 外貨建取引の範囲.....	74	第7節 連結財務諸表における税効果会計	
2. 為替換算の意義.....	74	133
3. 外貨建取引基準について.....	75	1. 消去された未実現損益（税効果会計	
第2節 外貨建取引等会計処理基準につい		基準第二・二・第1項）.....	133
て.....	76	2. 消去された債権債務.....	134
1. 一取引基準と二取引基準.....	76	3. 子会社の資産及び負債の評価差額	
2. 為替差異.....	77	（税効果会計基準第二・二・第3項）	
3. 外貨表示財務諸表の換算方法.....	79	134
第3節 外貨建取引にかかる会計処理... 80		第8節 まとめ.....	135
1. 取引発生時の処理（基準一）... 80		第6章 連結キャッシュ・フロー計算書... 136	
2. 決算時の処理.....	82	第1節 総論.....	136
3. 換算差額の処理について（基準一2		1. 意義.....	136
(2)）.....	101	2. 経緯.....	136
第4節 在外支店の財務諸表項目の換算 102		3. 種類.....	137
1. 換算の必要性.....	102	4. 位置づけ.....	137
2. 換算の方法（基準二）.....	102	5. 目的.....	137
第5節 在外子会社等の財務諸表項目の換		第2節 キャッシュ・フロー計算書の内容	
算.....	107	137
1. 換算の必要性.....	107	1. 資金概念.....	137
2. 換算の方法（基準三）.....	107	2. 営業活動によるキャッシュ・フロー	
第4章 リース取引会計.....	110	137
第1節 リース取引とは.....	110	3. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
第2節 リース取引の分類.....	110	138
第3節 リース取引の会計処理.....	112	4. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1. ファイナンス・リースの会計処理112		138
2. オペレーティング・リースの会計処		第3節 連結キャッシュ・フロー計算書の	
理.....	125	内容.....	139
第5章 税効果会計.....	126	第4節 表示.....	141
第1節 税効果会計とは.....	126	1. 表示方法.....	141
第2節 なぜ税効果会計を行うのか... 126		2. 様式.....	142
第3節 どのような項目を調整するのか 127			

付 録 1 : 間接法によるキャッシュ・フロー計算書作成のための精算表の雛型	145	び固定資産売却損が生じるケース	215
付 録 2 : 直接法によるキャッシュ・フロー計算書作成のための精算表の雛型	146	19 商品売買の現金取引及び借入金の調達取引のケース	219
第 5 節 個別キャッシュ・フロー計算書の作り方	147	20 商品売買の現金取引、借入金の調達取引及び未払利息があるケース	223
01 商品売買の現金取引及び期末に在庫商品があるケース	147	21 商品売買の現金取引、社債の発行取引及び金利調整差額の償却があるケース	227
02 商品売買の現金・掛取引及び期末に在庫商品があるケース	151	22 商品売買の現金取引、退職給付引当金の取崩取引及び同繰入額を計上するケース	231
03 商品売買の現金取引、売掛金の回収取引及び期末に在庫商品があるケース	155	23 商品売買の現金取引、支払配当金があるケース	235
04 商品売買の現金取引、買掛金の決済取引及び期末に在庫商品があるケース	159	24 商品売買の現金取引、外貨現金に為替差損が発生するケース	239
05 商品売買の現金・手形取引及び期末に在庫商品があるケース	163	25 商品売買の現金取引、外貨借入金に為替差損が発生するケース	243
06 商品売買の現金・手形の回収・決済取引及び期末に在庫商品があるケース	167		
07 商品売買の現金・手形の割引取引及び期末に在庫商品があるケース	171		
08 商品売買の現金仕入・手形売上及び割引手形の決済取引のケース	175		
09 商品売買の現金取引、固定資産の購入取引及び減価償却費を計上するケース	179		
10 商品売買の現金・掛取引、期末の在庫商品及び貸倒引当金を計上するケース	183		
11 商品売買の現金・掛取引、期末の在庫商品及び貸倒損失が発生するケース	187		
12 商品売買の現金取引及び棚卸減耗費が生じるケース	191		
13 商品売買の現金取引及び有価証券の購入取引のケース	195		
14 商品売買の現金取引、有価証券の購入・売却取引及び有価証券売却益が生じるケース ...	199		
15 商品売買の現金取引、有価証券の購入・売却取引及び有価証券売却損が生じるケース ...	203		
16 商品売買の現金取引、有価証券の購入取引及び有価証券評価損が生じるケース	207		
17 商品売買の現金取引、固定資産の売却取引及び固定資産売却益が生じるケース	211		
18 商品売買の現金取引、固定資産の売却取引及			

付 録 1 : 間接法によるキャッシュ・フロー計算書作成のための精算表の雛型
 資産の減少と負債・株主資本の増加には()をつけています。

科 目	期首 B/S	期末 B/S	増減	売上 債権の 増加	仕入債 務の 増加	固定 資産 の 増加	借入 金の 増加	利益 の 増加	現金 の 振替	合計	
現 金				<div style="border: 2px dashed black; padding: 10px;"> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 0;">A の領域</p> <p style="margin: 5px 0;">左の増減欄の反対記入をします。()付きは()なし、 ()なしには()付き、とします。</p> </div>							金額は0を記入します。
売 上 債 権(売掛金)											
固 定 資 産(建物)											
仕 入 債 務(買掛金)											
固 定 負 債(借入金)											
資 本 金											
利 益(繰越利益剰余金)											
合 計											
キャッシュ・フロー計算書											
I 営業活動による キャッシュ・フロー											
税金等調整前 当期純利益										行の金額の合計を記入します。	
減価償却費の計上 による CF の増加	} これらは例示です。 以下も同様。										
固定資産売却益の計上 による CF の減少											
受取利息及び 受取配当金											
商品の増加 による CF の減少											
小 計				営業損益計算に係る CF を計算する行です。各列の合計を記入。						行列同額	
利息及び配当金 の受取額の増加											
営業活動による キャッシュ・フロー				小計の合計と小計の下の金額を加減算したものを記入します。						行列同額	
II 投資活動による キャッシュ・フロー											
固定資産の売却 による収入											
投資活動による キャッシュ・フロー				投資活動に係る CF を計算する行です。各列の合計を記入。						行列同額	
III 財務活動による キャッシュ・フロー											
社債の発行 による収入											
財務活動による キャッシュ・フロー				財務活動に係る CF を計算する行です。各列の合計を記入。						行列同額	
IV 現金及び現金同等物 に係る換算差額											
V 現金及び現金同等物 の増加額				I 営業 CF + II 投資 CF + III 財務 CF + IV 換算 CF の 4 つの合計。						行列同額	
VI 現金及び現金同等物 期首残高									両方に期首残高を記入		
VII 現金及び現金同等物 期末残高				V の増加額の行と VI の期首残高の 2 つの合計を記入します。						行列同額	

付 録 2 : 直接法によるキャッシュ・フロー計算書作成のための精算表の雛型

キャッシュ・フローの増加には金額の前に「+」を、キャッシュ・フローの減少には金額の前に「△」を付けてわかりやすく表示しています。

	損 益 項 目				利 益 剰 余 金	資 産 ・ 負 債 の 増 減				合 計
	売上高	売上原価	販売費及び一般管理費		役員賞与	売掛金	棚卸資産	買掛金	減価償却累計額	
			人件費	その他の営業費						
I 営業活動による キャッシュ・フロー										
1. 営業収入	+80					△30				+50
2. 商品の仕入支出		△50					△10	+20		△40
3. 人件費支出			△8		△2					△10
4. その他の営業支出				△1						△1
合計	+80	△50	△8	△1	△2	△30	△10	+20		△1

「営業活動によるキャッシュ・フロー」の小計欄以降は間接法の場合と同様のため省略します。

i 期首貸借対照表

iii 期末貸借対照表

期首貸借対照表

期末貸借対照表

現 金	110	利益剰余金	10
		資 本 金	100
	<u>110</u>		<u>110</u>

現 金	109	買 掛 金	20
売 掛 金	30	資 本 金	100
商 品	10	利 益 剰 余 金	29
	<u>149</u>		<u>149</u>

ii 期中取引

iv 損益計算書&株主資本等変動計算書(略式)

(借)仕 入 60	(貸)現 金 40
	買 掛 金 20
(借)現 金 50	(貸)売 上 80
売 掛 金 30	
(借)給 料 8	(貸)現 金 8
(借)その他営業費 1	(貸)現 金 1
(借)役 員 賞 与 2	(貸)現 金 2
(利益剰余金)	

損益計算書&株主資本等変動計算書	
I 売 上 高	80
II 売 上 原 価	50 (=期首0+仕入60-期末10)
売上総利益	30
III 販売費・一般管理費	
人件費	8
その他の営業費	1
当期純利益	21
IV 剰余金一期首	10
V 減少額	2
VI 剰余金一期末	<u>29</u>

参考までに精算表上の仕訳例を示しておきます。

営業収入額把握のための修正仕訳	(借方) 売 上 高 P/L 80	(貸方) 売掛金の増加額 B/S 30	営業収入 CF 50
-----------------	-------------------	---------------------	------------

商品仕入額把握のための修正仕訳	(借方) 買掛金の増加額 B/S 20	(貸方) 棚卸資産の増加額 B/S 10	商品の仕入支出 CF 40	売上原価 P/L 50
-----------------	---------------------	----------------------	---------------	-------------

人件費支出額に関する修正仕訳	(借方) 人件費支出 C/F 10	(貸方) 販売費・一般管理費 P/L 8	利益剰余金(役員賞与)B/S 2
----------------	-------------------	----------------------	------------------

その他の営業支出額把握のための修正仕訳	(借方) その他の営業支出 CF 1	(借方) 販売費・一般管理費 P/L 1
---------------------	--------------------	----------------------

第5節 個別キャッシュ・フロー計算書の作り方

01 商品売買の現金取引及び期末に在庫商品があるケース

[資料]

i 期首貸借対照表

期首貸借対照表					
現	金	<u>100</u>	資	本	金 <u>100</u>

ii 期中取引

商品の現金購入

(借方) 仕	入	60	(貸方) 現	金	60
--------	---	----	--------	---	----

商品の現金販売

(借方) 現	金	80	(貸方) 売	上	80
--------	---	----	--------	---	----

iii 決算取引

期末商品の在庫

(借方) 商	品	10	(貸方) 仕	入	10
--------	---	----	--------	---	----

iv 損益計算書

損益計算書	
I 売上高	80
II 売上原価	<u>50</u> (=期首0+仕入60-期末10)
当期純利益	<u>30</u>

v 期末貸借対照表

期末貸借対照表					
現	金	120	資	本	金 100
商	品	<u>10</u>	当	期	純 利 益 <u>30</u>
<u>130</u>			<u>130</u>		

間接法による「キャッシュ・フロー計算書」を作成するための精算表上の仕訳

①税金等調整前当期純利益	+30	の認識仕訳	(借) 利益 B/S	30	(貸) 営業 CF の増加	30
②商品増加による営業 CF	<u>△10</u>	の減少仕訳	(借) 営業 CF の減少	10	(貸) 商品 B/S	10
営業活動による CF	<u>+20</u>					

③現金及び現金同等物の振替仕訳			(借) 現金及び現金同等物期末残高	120	(貸) 現金 B/S	20
					現金及び現金同等物期首残高	100

キャッシュ・フロー計算書作成のための精算表への記入：資産の減少と負債・株主資本の増加には()をつけています。

科 目	期首 B/S	期末 B/S	増減	② 商品 の増加	① 利益	③ 現金 の振替	合計
現金	100	120	20			(20)	0
商品	0	10	10	(10)			0
資本金	(100)	(100)	0				0
利益	0	(30)	(30)		30		0
合計	0	0	0	(10)	30	(20)	0
キャッシュ・フロー計算書							
I 営業活動による キャッシュ・フロー							
税金等調整前 当期純利益					+30		+30
商品の増加 による CF の減少				△10			△10
営業活動による キャッシュ・フロー				△10	+30	0	+20
III 現金及び現金同等物 の増加額				△10	+30		+20
IV 現金及び現金同等物 期首残高						+100	+100
V 現金及び現金同等物 期末残高				△10	+30	+100	120

キャッシュ・フロー計算書上の '+' は増加を、'△' は減少を示しています。

解 説

- ① 税金等調整前当期純利益 30 は、現金売上 80 から売上原価 50 を差し引いた 30 が、「営業活動によるキャッシュ・フロー」として残っているという仮定にもとづいています。
- ② 商品 10 の増加は、現金仕入 60 のうち売上原価 50 にならないで在庫商品 10 として残っているものが上記①税金等調整前当期純利益 30 では現金支出として扱われていないので、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の減少を計上していないという意味で、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の減少となります。簡単に言えば、売上原価分しか現金支出になっていないからです。
- ③ 現金及び現金同等物の期首残高 100 に、期中の現金及び現金同等物の増加額 20 を加えて、現金及び現金同等物の期末残高 120、を求めるための記入です。

解答用紙：ではチャレンジしてみましょう！

キャッシュ・フロー計算書作成のための精算表への記入：資産の減少と負債・株主資本の増加には()をつけています。

科 目	期首 B/S	期末 B/S	増減	② 商品 の増加	① 利益	③ 現金 の振替	合計
現 金							
商 品							
資 本 金							
利 益							
合 計							
キャッシュ・フロー計算書							
I 営業活動による キャッシュ・フロー							
税金等調整前 当期純利益							
商品の増加 によるCFの減少							
営業活動による キャッシュ・フロー							
III 現金及び現金同等物 の増加額							
IV 現金及び現金同等物 期首残高							
V 現金及び現金同等物 期末残高							

キャッシュ・フロー計算書上の‘+’は増加を、‘△’は減少を示しています。

02 商品売買の現金・掛取引及び期末に在庫商品があるケース

[資料]

i 期首貸借対照表

期首貸借対照表							
現	金	<u>100</u>		資	本	金	<u>100</u>

ii 期中取引

商品の一部掛購入

(借方)	仕	入	60	(貸方)	現	金	40	
					買	掛	金	20

商品の一部掛販売

(借方)	現	金	50	(貸方)	売	上	80
	売	掛	金	30			

iii 決算取引

期末商品の在庫

(借方)	商	品	10	(貸方)	仕	入	10
------	---	---	----	------	---	---	----

iv 損益計算書

損益計算書					
I	売	上	高	80	
II	売	上	原	<u>50</u>	(=期首0+仕入60-期末10)
			価		
			当期純利益	<u>30</u>	

v 期末貸借対照表

期末貸借対照表							
現	金	110		買	掛	金	20
売	掛	金	30	資	本	金	100
商	品	品	<u>10</u>	当	期	純	利
			<u>150</u>	益		<u>30</u>	
						<u>150</u>	

間接法による「キャッシュ・フロー計算書」を作成するための精算表上の仕訳

①税金等調整前当期純利益	+30	の認識仕訳	(借) 利益 B/S	30	(貸) 営業 CF の増加	30
②売掛金増加の営業 CF	△30	の減少仕訳	(借) 営業 CF の減少	30	(貸) 売掛金 B/S	30
③買掛金増加の営業 CF	+20	の増加仕訳	(借) 買掛金 B/S	20	(貸) 営業 CF の増加	20
④商品増加の営業 CF	△10	の減少仕訳	(借) 営業 CF の減少	10	(貸) 商品 B/S	10
営業活動による CF	<u>+10</u>					

⑤現金及び現金同等物の振替仕訳	(借) 現金及び現金同等物期末残高	110	(貸) 現金 B/S	10
			現金及び現金同等物期首残高	100

キャッシュ・フロー計算書作成のための精算表への記入：資産の減少と負債・株主資本の増加には()をつけています。

科目	期首 B/S	期末 B/S	増減	② 売掛金の増加	③ 買掛金の増加	④ 商品の増加	① 利益	⑤ 現金の振替	合計
現金	100	110	10					(10)	0
売掛金	0	30	30	(30)					0
商品	0	10	10			(10)			0
買掛金	0	(20)	(20)		20				0
資本金	(100)	(100)	0						0
利益	0	(30)	(30)				30		0
合計	0	0	0	(30)	20	(10)	30	(10)	0
キャッシュ・フロー計算書									
I 営業活動によるキャッシュ・フロー									
税金等調整前当期純利益							+30		+30
売掛金の増加による CF の減少				△30					△30
買掛金の増加による CF の増加					+20				+20
商品の増加による CF の減少						△10			△10
営業活動によるキャッシュ・フロー				△30	+20	△10	+30	0	+10
II 現金及び現金同等物の増加額				△30	+20	△10	+30		+10
III 現金及び現金同等物期首残高								+100	+100
IV 現金及び現金同等物期末残高				△30	+20	△10	+30	+100	110

キャッシュ・フロー計算書上の '+' は増加を、'△' は減少を示しています。

解 説

- ①税金等調整前当期純利益 30 は、現金売上 80 があり、一方で現金仕入（売上原価）50 があって、差し引いた 30 が、「営業活動によるキャッシュ・フロー」として残っているという仮定にもとづいています。
- ②売掛金 30 の増加は、売上のうち現金が入ってこなかったのですから、「営業活動によるキャッシュ・フロー」が増加していないという意味で、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の減少となります。
- ③買掛金 20 の増加は、仕入代金のうちまだ現金を支払っていないのですから、「営業活動によるキャッシュ・フロー」が減少していないという意味で、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の増加となります。
- ④商品 10 の増加は、仕入代金のうち売上原価にならないで在庫として残っているのですから、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の減少を計上していないという意味で、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の減少となります。それは、売上原価分しか現金支出になっていないからです。
- ⑤現金及び現金同等物の期首残高 100 に、期中の現金及び現金同等物の増加額 10 を加えて、現金及び現金同等物の期末残高 110、を求めるための記入です。

解答用紙：ではチャレンジしてみましょう！

キャッシュ・フロー計算書作成のための精算表への記入：資産の減少と負債・株主資本の増加には()をつけています。

科 目	期首 B/S	期末 B/S	増減	② 売掛金 の増加	③ 買掛金 の増加	④ 商品 の増加	① 利益	⑤ 現金 の振替	合計
現 金									
売 掛 金									
商 品									
買 掛 金									
資 本 金									
利 益									
合 計									
キャッシュ・フロー計算書									
I 営業活動による キャッシュ・フロー									
税金等調整前 当期純利益									
売掛金の増加 によるCFの減少									
買掛金の増加 によるCFの増加									
商品の増加 によるCFの減少									
営業活動による キャッシュ・フロー									
II 現金及び現金同等物 の増加額									
III 現金及び現金同等物 期首残高									
IV 現金及び現金同等物 期末残高									

キャッシュ・フロー計算書上の‘+’は増加を、‘△’は減少を示しています。

03 商品売買の現金取引、売掛金の回収取引及び期末に在庫商品があるケース

[資料]

i 期首貸借対照表

期首貸借対照表						
現		金	100	資		120
売	掛	金	20	本	金	120
			120			120

ii 期中取引

商品の現金購入

(借方)	仕		入	60	(貸方)	現		金	60
------	---	--	---	----	------	---	--	---	----

商品の現金販売

(借方)	現		金	80	(貸方)	売		上	80
------	---	--	---	----	------	---	--	---	----

売掛金の回収取引

(借方)	現		金	20	(貸方)	売		掛	金	20
------	---	--	---	----	------	---	--	---	---	----

iii 決算取引

期末商品の在庫

(借方)	商		品	10	(貸方)	仕		入	10
------	---	--	---	----	------	---	--	---	----

iv 損益計算書

損益計算書

I	売	上	高		80				
II	売	上	原	価	50	(=期首0+仕入60-期末10)			
			当期純利益		30				

v 期末貸借対照表

期末貸借対照表						
現		金	140	資		120
商	品	品	10	当	期	純
			150			30
			150			150

間接法による「キャッシュ・フロー計算書」を作成するための精算表上の仕訳

①税金等調整前当期純利益	+30	の認識仕訳	(借) 利 益 B/S	30	(貸) 営業 CF の増加	30
②売掛金回収の営業 CF	+20	の増加仕訳	(借) 売 掛 金 B/S	20	(貸) 営業 CF の増加	20
③商品増加による営業 CF	<u>△10</u>	の減少仕訳	(借) 営業 CF の減少	10	(貸) 商 品 B/S	10
営業活動による CF	<u>+40</u>					

④現金及び現金同等物の振替仕訳			(借) 現金及び現金同等物期末残高	140	(貸) 現 金 B/S	40
					現金及び現金同等物期首残高	100

キャッシュ・フロー計算書作成のための精算表への記入：資産の減少と負債・株主資本の増加には()をつけています。

科 目	期首 B/S	期末 B/S	増減	② 売掛金 の減少	③ 商品 の増加	① 利益	④ 現金 の振替	合計
現 金	100	140	40				(40)	0
売 掛 金	20	0	(20)	20				0
商 品	0	10	10		(10)			0
資 本 金	(120)	(120)	0					0
利 益	0	(30)	(30)			30		0
合 計	0	0	0	20	(10)	30	(40)	0
キャッシュ・フロー計算書								
I 営業活動による キャッシュ・フロー								
税金等調整前 当期純利益						+30		+30
売掛金の減少 による CF の増加				+20				+20
商品の増加 による CF の減少					△10			△10
営業活動による キャッシュ・フロー				+20	△10	+30	0	+40
III 現金及び現金同等物 の増加額				+20	△10	+30		+40
IV 現金及び現金同等物 期首残高							+100	+100
V 現金及び現金同等物 期末残高				+20	△10	+30	+100	140

キャッシュ・フロー計算書上の '+' は増加を、'△' は減少を示しています。

解 説

- ① 税金等調整前当期純利益 30 は、現金売上 80 から売上原価 50 を差し引いた 30 が、「営業活動によるキャッシュ・フロー」として残っているという仮定にもとづいています。
- ② 売掛金 20 の減少は、上記①税金等調整前当期純利益 30 以外に、売掛金の回収として現金収入 20 があったのですから、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の増加となります。
- ③ 商品 10 の増加は、現金仕入 60 のうち売上原価 50 にならないで在庫商品 10 として残っているものが上記①税金等調整前当期純利益 30 では現金支出として扱われていないので、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の減少を計上していないという意味で、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の減少となります。簡単に言えば、売上原価分しか現金支出になっていないからです。
- ④ 現金及び現金同等物の期首残高 100 に、期中の現金及び現金同等物の増加額 40 を加えて、現金及び現金同等物の期末残高 140、を求めるための記入です。

解答用紙：ではチャレンジしてみましょう！

キャッシュ・フロー計算書作成のための精算表への記入：資産の減少と負債・株主資本の増加には()をつけています。

科 目	期首 B/S	期末 B/S	増減	② 売掛金 の減少	③ 商品 の増加	① 利益	④ 現金 の振替	合計
現 金								
売 掛 金								
商 品								
資 本 金								
利 益								
合 計								
キャッシュ・フロー計算書								
I 営業活動による キャッシュ・フロー								
税金等調整前 当期純利益								
売掛金の減少 による CF の増加								
商品の増加 による CF の減少								
営業活動による キャッシュ・フロー								
III 現金及び現金同等物 の増加額								
IV 現金及び現金同等物 期首残高								
V 現金及び現金同等物 期末残高								

キャッシュ・フロー計算書上の ‘+’は増加を、 ‘△’は減少を示しています。

04 商品売買の現金取引、買掛金の決済取引及び期末に在庫商品があるケース

[資料]

i 期首貸借対照表

期首貸借対照表			
現	金	100	買掛金
			資本金
		100	30
			70
		100	100

ii 期中取引

商品の現金購入

(借方) 仕	入	60	(貸方) 現	金	60
--------	---	----	--------	---	----

商品の現金販売

(借方) 現	金	80	(貸方) 売	上	80
--------	---	----	--------	---	----

買掛金の決済取引

(借方) 買	掛	金	(貸方) 現	金	30
--------	---	---	--------	---	----

iii 決算取引

期末商品の在庫

(借方) 商	品	10	(貸方) 仕	入	10
--------	---	----	--------	---	----

iv 損益計算書

損益計算書

I 売上高	80	
II 売上原価	50	(=期首0+仕入60-期末10)
当期純利益	30	

v 期末貸借対照表

期末貸借対照表			
現	金	90	資
商	品		本
		10	金
			70
		100	30
			100

間接法による「キャッシュ・フロー計算書」を作成するための精算表上の仕訳

①税金等調整前当期純利益	+30	の認識仕訳	(借) 利 益 B/S	30	(貸) 営業 CF の増加	30
②買掛金決済の営業CF	△30	の減少仕訳	(借) 営業 CF の減少	30	(貸) 買 掛 金 B/S	30
③商品増加による営業CF	△10	の減少仕訳	(借) 営業 CF の減少	10	(貸) 商 品 B/S	10
営業活動によるCF	△10					

④現金及び現金同等物の振替仕訳	(借) 現 金 B/S	10	(貸) 現金及び現金同等物期首残高	100
	現金及び現金同等物期末残高	90		

キャッシュ・フロー計算書作成のための精算表への記入：資産の減少と負債・株主資本の増加には()をつけています。

科 目	期首 B/S	期末 B/S	増減	② 買掛金 の減少	③ 商品 の増加	① 利益	④ 現金 の振替	合計
現 金	100	90	(10)				10	0
商 品	0	10	10		(10)			0
買 掛 金	(30)	0	30	(30)				0
資 本 金	(70)	(70)	0					0
利 益	0	(30)	(30)			30		0
合 計	0	0	0	(30)	(10)	30	10	0
キャッシュ・フロー計算書								
I 営業活動による キャッシュ・フロー								
税金等調整前 当期純利益						+30		+30
買掛金の減少 によるCFの減少				△30				△30
商品の増加 によるCFの減少					△10			△10
営業活動による キャッシュ・フロー				△30	△10	+30	0	△10
III 現金及び現金同等物 の増加額				△30	△10	+30		△10
IV 現金及び現金同等物 期首残高							+100	+100
V 現金及び現金同等物 期末残高				△30	△10	+30	+100	90

キャッシュ・フロー計算書上の「+」は増加を、「△」は減少を示しています。